

## ◎一般教養科

主任 鴻上政明

### 1. 教育改善推進体制

1. 1 教科ごとにグループを組む。
  - [1] 英語グループ：○尾崎、鴻上、塚野、野村、佐渡、夕ベシ各教員
  - [2] 国語・国文グループ：○野口(裕)、森長、野田各教員
  - [3] 社会系グループ：○谷本、鹿毛、井上各教員
  - [4] 独語グループ：○木本教員
  - [5] 保健・体育グループ：○安藤、今城、夢田各教員

\* ○：グループ長

1. 2 科主任、各グループ長からなる体制を組む。

### 2. 平成17年度実施計画

#### 2. 1 英語グループ

- [1] 適宜会合を持つ。  
よく会合をして、検討した。
- [2] 全校英語学力試験を年2回実施する。  
予定通りに実施できた。
- [3] 長期休業中の学力養成講座を実施する。  
予定通り実施できた。
- [4] 四国地区6高専共通テストの実施に協力する。  
3年生に6高専共通テストを実施した。
- [5] 外国人教師を迎えての少人数授業を効果的に実施する。  
まだ改善の余地はあるが、少人数授業を実施した。
- [6] 前年度導入した教育支援システムを効果的に利用する。  
語彙ソフトを全学年で実施した。
- [7] FDの向上(新任教員の授業参観、研修会参加等)  
新任教員を含めて、4名公開授業を実施し、授業方法について検討した。夏休みにはFD研修会に3名が参加して、内1名が発表もした。他高専の英語教員と情報交換ができ有意義な研修であった。
- [8] 90分授業に対応する教授法の改善  
45分授業と90分授業の2本立てだったので、まだ改善の余地はある。  
本科1年、2年、専攻科生の希望者を対象に補習授業を実施した。補習授業を受けた学生には成績の向上が見られた。

#### 2. 2 国語・国文グループ

グループによるFD等の実践

- [1] 定期試験ごとに会合を持つ。  
予定通り会合を持ち、よく検討した。
- [2] 教授内容の基本的な統一をはかる。  
検討し、ほぼ統一した。
- [3] シラバスの内容を検討し、いっそうの改善をはかる。  
本年度のものを検討し、次年度に向けて改善した。
- [4] 90分授業の利点を活かすため、教材資料を共有し、利用を推進する。  
視聴覚教材を共有し、活用した。
- [5] それぞれの教育改善のための工夫を持ち寄り、互いの教授能力の向上に努める。  
各人の特性を生かし、できる限り情報を交換し、向上に努めた。  
夏休みにはFD研修会に2名が参加し、内1名が発表もした。他高専の国語教員と情報交換ができ有意義な研修であった。

#### 2. 3 社会系グループ

新任教員の研修に重点を置き、新任教員の研修を通じて社会系グループ全体の教育改善の推進をはかる。

- [1] 社会系グループにおける教育改善推進の方針について確認する。(4月)  
年度当初に実施し、平成17年度教育改善推進計画について確認した。
- [2] 新任教員は、倫理担当教員の授業を参観して担当教員と意見交換を行い、報告書を提出する。(4月～5月)  
6月7日(火)3時限の授業について実施した。
- [3] 新任教員は、政治・経済担当教員の授業を参観して担当教員と意見交換を行い、報告書を提出する。(4月～5月)  
6月1日(水)1時限の授業について実施した。
- [4] 新任教員による公開授業を行い、社会系教員中心に、当該授業の検討をもとに社会系グループにおける教育改善全般について意見交換を行う。新任教員は「公開授業実施報告書」を提出する。(6月)  
9月21日(水)2時限の授業について実施した。
- [5] 上記以外にも、社会系グループ内で授業参観を実施し、授業方法の検討等教育改善

推進のための意見交換を行う。(後期)

2月15日(水) 2時限の授業(歴史2)について実施した。

2月17日(金) 2時限の授業(倫理)について実施した。

[6] 年間の総括を行う。(2月)

3月に実施した。

日程のずれはあったものの、計画はほぼ予定通り実施でき、授業方法等について教員にとって互いに参考になるものがあった。上記以外に、8月11日(木)と12日(金)に実施された阿南高専での社会科のFD研修会に2名が参加し、他高専の社会科系教員と意見交換でき有意義であった。

## 2. 4 独語グループ

学生の関心を喚起するため、視覚・聴覚に訴える立体的な授業作りを目指す。

[1] 映画の教材化

目標：新しいドイツ映画を一本、教材化して授業で使用する。

"Good-bye Lenin"を教材化し、「中級独語」で使用した。

[2] ドイツ音楽の教材化

あらたに Space Kelly: Schluss, Aus und Vorbei を教材化し、「初級独語」および「中級独語」で使用した。

## 2. 5 保健・体育グループ

規律ある生活習慣の形成と健康安全の意識向上

[1] 始業時刻の遵守指導

年度初めの指導が浸透して例年に比べ良かった。ただし本年度より1時限目に授業が設定されたクラスがありそのクラスで何名か(決まった者)の遅刻が目立った。

[2] 体育実技における服装指導

下級生にはよく指導が浸透した。中高学年で一部服そう忘れが目立った。

[3] 集合隊形形成指導

授業開始時に集合する隊形として毎時間行うことによって、ごく自然に習慣付いた。

[4] 他者との協力及び協調性の指導

どの教材においてもグループでの活動を基本に授業展開したことにより効果的であった。

[5] 健康および安全生活に対する指導

自分の健康状態を知る簡単な測定数値を示し、数的に健康状態を理解させたことが効果的であった。

[6] 身体運動の効果的技術指導

これまで忘れがちになっている基本技術を中心に指導し実践できた。また教材の中で初めての経験であろう物に関しては習得過程を実感させる技術指導を意識し実践できた。

[7] 身体運動の意義と楽しさの指導

「意義」については教材ごとに細かな説明をつけ理解させた。「楽しさ」については身体運動を避けがちになる学生に対し、特に配慮をもって指導に当たったが「楽しさ」を実感させられたかどうかさらなる観察が必要と思われる。

[8] 90分授業に対する効果的な授業展開

今年の実践を元に授業展開においてさらに工夫を行いたい。

### ○ 総括的な評価と課題

全教科グループにおいて、当初の計画を大体達成できた。細部にわたっては、反省すべき点がある。FD研修会に参加して他高専と情報交換をして日頃の授業に生かそうとした。90分授業が導入されたので、効果的な授業方法の改善にはさらに努力しなければならない。